

知的障害部門 高等部について

2025年

1. コース制について

生活コース 社会コース 職業コース

- ・コース選択の視点: どのコースで学べば無理なくさらに力を伸ばすことができるか

※夏季休業中に実施する入学相談(諸検査、面接等)で相談します。

- ・コース毎に学級編成: 学年が上がるときに、所属コースが適正かどうかについての見直しをおこない、必要があればコースを変更する場合があります。
- ・学年全体や学年を越えたコース全体での活動

2. 各コースについて

生活コース

- [目標] ・情緒の安定を図りながら、基本的な生活習慣を身につける。

・集団生活に必要な知識、技能、態度の育成を目指す。

- [学習内容] ・自立活動(感覚、動作)

・基礎学習(国語・数学・認知)

・日常生活の指導(更衣、排泄、食事、清掃、ウォーキングなど)

・教科等を合わせた指導が中心(日常生活の指導、生活単元学習など)

・チャレンジ学習(生活単元学習の一環としての社会体験学習)

・作業学習

社会コース

- [目標] ・基本的な生活習慣を確立し、社会参加を目指す。

・周囲の人々と協調して生活できる力をつける。

- [学習内容] ・自立活動(感覚、動作、認知、コミュニケーションなど)

・日常生活(更衣、排泄、食事、清掃、ランニングなど)

・生活単元学習(主として校外での社会体験学習)

・基礎学習(国語・数学)

・作業学習

・教科別の学習(道徳・保健体育・音楽・家庭・美術・理科・社会)

職業コース

- [目標] ・人と豊かに関わり健全な生活を送るための力をつける。

・社会の一員となり働くために必要な力をつける。

- [学習内容] ・教科別の学習(道徳・保健体育・音楽・家庭・美術・理科・社会)

・作業学習(火曜日 全日・木曜日 午前)

・職業の時間を利用した進路学習(技能検定を含む)

3. 合同で行う授業

(1) 学年の中で

- ・生活と社会で 保健体育、音楽、家庭、美術など
- ・全コース 総合的な探求の時間など

(2) コースの中で

- ・作業学習、チャレンジ、生活単元学習 など

4. 肢体不自由部門との交流

- ・行事等(全校行事、学部行事など)学年合同で実施
- ・授業交流…在籍生徒の実態に合わせて実施

5. 卒業後の進路

コースで進路が決まるのではなく、あくまで生徒の実態が中心となります。

- ① 卒業時点での就労を目指す…一般企業、特例子会社、就労継続支援 A 型事業所など
- ② 卒業後1~2年での就労を目指す…就労移行支援事業所、職業訓練校など
- ③ 2年より長い期間で就労を目指す… 就労継続支援 B 型事業所
- ④ 2年間で次の事業への移行を目指す… 自立訓練事業所
- ⑤ 創作活動・生産活動を中心に生活を楽しむ活動を行う…生活介護事業所
- ⑥ 創作活動・生産活動・社会との交流の場として利用する…地域活動支援センター

6. 卒業後の進路状況(肢体部門を含む)

卒業年度	就職	移行支援	就労継続 B	自立訓練	生活介護	その他	合計
R 6	7	0	13	0	11	0	31
R 5	4	2	16	2	10	1	35
R 4	7	2	20	0	16	3	48
R 3	7	2	16	0	10	5	40
R 2	4	2	26	1	11	2	46
R 1	8	0	24	0	13	0	45
H30	6	5	26	2	12	3	54

※「就職」には就労継続 A 型施設を含む。「その他」には進学(職業訓練校)を含む。